NISSAN 愛媛日産ニュースリリース NEWS

2026/9/25 第 53 号

愛媛新聞「Towards2030 ～愛媛の SDGs～」にて

愛媛日産の EV 資源循環への取り組みが紹介されました

2026 年 9 月 25 日発行の愛媛新聞「Towards2030 ～愛媛の SDGs～」特集において、愛媛県が推進する「えひめ EV サーキュラーエコノミー」の取り組みとともに、愛媛日産自動車の EV 資源循環に向けた取り組みが掲載されました。

愛媛日産は、地域における EV 普及と資源循環の実現に向けて、「中古 EV の普及促進」「使用済み EV バッテリーの再利用」「EV バッテリー資源循環ネットワーク構築」に取り組んでいます。今回の掲載では、その先進的な取り組みが愛媛モデルとして紹介されました。

【中古 EV の価値を見える化】

愛媛日産では、株式会社 MobiSavi と連携し、中古 EV のバッテリー性能を可視化した「性能証明書」を発行しています。車両ごとのバッテリー容量や走行可能距離、将来の性能予測を見える化することで、お客様の不安解消と安心した EV 選びをサポートしています。その結果、中古 EV 販売は 2024 年度 29 台から 2025 年度 52 台へ増加し、中古 EV 市場の活性化につながっています。

【EV バッテリー再利用ハブを愛媛で構築】

株式会社 MobiSavi および LB エンジニアリングジャパンと連携し、使用済み EV バッテリーの回収・診断・供給を行う「EV バッテリー再利用ハブ」の構築を進めています。再利用されたバッテリーは、定置型蓄電池や可搬型蓄電池、再生可能エネルギーと組み合わせた設備などへの活用が期待されています。

【地域完結型 EV サーキュラーエコノミーの実現へ】

愛媛県では「えひめ EV サーキュラーエコノミー推進協議会」を中心に、EV の普及から中古車活用、バッテリー再利用、レアメタル回収までを地域内で循環させる取り組みが進められています。
現在 63 の企業・団体が参画しています。愛媛日産は、自動車ディーラーとしてお客様との接点を担う立場から、EV の普及だけでなく、使用済み EV バッテリーの価値創造と資源循環の実現に貢献してまいります。

愛媛日産は、「売って終わり」ではなく、EV の普及から中古 EV 活用、バッテリー再利用、再資源化までをつなぐ地域循環モデルの実現に挑戦しています。

今後も自治体・企業・研究機関との連携を深めながら、持続可能な地域社会の実現とカーボンニュートラルへの貢献を目指してまいります。



